

次号予告

特集 特養・在宅のリハビリテーション

特養におけるリハビリテーション

のあり方.....愛全園 蓮村 幸 兌

特養における理学療法士の役割.....青陽園 香川 幸二郎

特養における作業療法士の役割.....悲田院老人ホーム 松下 起 士

在宅のリハビリテーション

(その必要性およびチームワークのあり方)...板橋区 米田 睦 男

在宅リハビリテーション活動における

ソーシャル・ワーカーの役割.....東大リハ部 菊田 知恵子

在宅リハビリテーション活動における

保健婦の役割.....十和田保健所 山崎 ト ク

とびら 受け継ぐ学会から創り出す学会.....高知医療学院 嶋田 智 明

講座 教育学シリーズVI 教育評価 (1).....玉川大学 沼野 一 男

プログレス 肢体不自由児施設の今後.....聖母整肢園 梶浦 一 郎

進路指導.....筑波大学 三沢 義 一

Recommended (理学療法部門) 脳性麻痺.....聖母整肢園 西山 知行

Readings

(作業療法部門) 失語症・失行症・

失認症と作業療法.....都老人研 鎌倉 矩子

資料 第13回理学療法士、作業療法士国家試験問題

一模範解答 (Ⅲ) 1978年度

文献抄録

編集後記

ちょっと油断している間にできてしまった拘縮を前にして、この拘縮予防の方法のために自分は果してPTとして全力を注いだらうかと自問して見て、冷汗をかくような思いをした経験のないPTは少ないのではないだろうか？また、何とかしてこの動きをもう少し実用性のあるものにしたと願う気持ちも痛い程わかる。今村氏によるとびらを読んで、今の日本のPTのあり方をあらためて考えて見ようではないか？我々は理学療法をすばらしいものにしたとあせり過ぎてはいないだろうか？砂上の楼閣にならないように、まず第一に土台作り、すなわち、すべてのPTが今実際に役立つことを確実に実施することが、何よりも重要なことであると思う。

今月号では特集として脳性麻痺をとりあげた。いろいろな治療法が交錯している現時点で、正常児の運動・知覚の発達を整理

してみるのも意味があると考え、それぞれ松浦氏、江口(洋)氏にお願いした。高松氏には脳性麻痺の神経生理学的治療の原理という難しい論題をお願いしたが、非常にわかりやすく論説しており、今後の治療の方向付けにもなると思われるので是非一読をお勧めしたい。江口(壽)氏他による脳性麻痺の移動能力の予後には、貴重な経験から出された興味のある、参考となる資料が多く含まれている。

近年通園による療育指導が急速に増えた。早川氏の論文は、著者の人柄と経験がにじみ出ており興味深く読ませて頂いた。筆者が研修を受けたことのある米国の通園施設で、ソーシャル・ワーカーが非常に大きな役割を担っているのに驚嘆したことがある。今回紹介された通園施設では、ソーシャル・ワーカーがいないようである。筆者の不勉強からくるものかもしれないが、日本の事情では、どうあるべきなのかと考えさせられた。(福屋 靖子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院長五 味 重 春
筑波大学心身障害学系教授砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長津 山 直 一
東京大学教授・整形外科水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部荻 島 秀 男
わらび診療所大 喜 多 潤
兵庫県リハセンター鈴 木 明 子
府中リハビリ専門学校寺 山 久美子
都心障センター奈 良 勲
有馬温泉病院

福 屋 靖 子

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

大 橋 博

大 丸 幸

金 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

駒 沢 治 夫

佐 藤 章

佐 藤 馨

嶋 田 智 明

高 橋 正 明

武 富 由 雄

谷 岡 淳

富 岡 詔 子

中 屋 久 長

藤 沢 しげ子

松 本 妙 子

丸 谷 隆 明

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

和 才 嘉 昭
(担当 細田・西塚)